令和●年度 看護部　新人看護職員年間教育計画

【病院基本理念】
「私たちは地域の人々・利用者とご家族の幸せを願い保健・医療・福祉の総合力を発揮して健康生活のベストパートナーとなることを目指します」

【看護部の理念】
「人間の潜在能力を引き出す、ヒューマンケアの実現」

【看護教育理念】
病院の機能に応じた専門的な知識や技術を身につけ、患者様の権利を尊重した良質な看護サービスが提供出来る看護師を育成する

【教育目標】
1）倫理的感受性と倫理的行動力を高める
2）看護の専門的知識・技術・態度を修得し、看護臨床実践能力を身につける
3）問題解決能力・判断力を身につける
4）看護における継続教育・研究の目的を理解し、自己研鑽できる

【目指す看護師像】
患者様の権利を尊重し、対象を深く理解し、専門職として自律した行動をとることのできる看護師

【看護部　新人コース教育目標】
病院・看護部の理念・目標を理解し、御幸病院の職員としての自覚を持ち、職場の早期適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する
看護の素晴らしさを実感し、看護に対する誇りが持てる

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標		1. 病棟全体で新人看護師の育成ができるよう、病棟スタッフが新人教育年間計画を理解できる	1. 社会人としての責任を認識し行動できる。(欠勤なく来れる) 2. 新しい環境になれる 3. 施設の理念、役割を理解し、看護師として行動できる。 4. 病棟の看護の特殊性を理解し、日勤の業務を知り指導の下に1日の行動計画を立案できる 5. 与薬・静脈内注射についての学習ができる 6. 看護技術が先輩の指導の下で見学・経験ができる	1. 先輩看護師の指導のもとに、優先順位を考え1日の行動計画を立案できる 2. 基本的な看護技術の習得ができる 3. 嚥下障害、行動制限、転倒転落予防についての学習ができる 5. 先輩看護師指導のもとにフリー業務ができる	1. 先輩看護師の指導のもとに、主体的に計画を立て看護実践を行うことができる 2. 経験していない基本的な看護技術の習得を図ることができる 3. 褥瘡、せん妄に対する看護の学習ができる	1. 主体的に担当患者の1日の計画を立て看護実践を行うことができる 2. 未経験項目の基本的な看護技術の習得を図ることができる 3. 指導のもと指導のもと入院対応の業務を理解し、受け入れができる 4. 入院の受け入れができる 5. 先輩看護師の指導のもと、受け持ち看護師として役割を知ることができる 6. 先輩看護師の指導のもとに、夜勤を経験し夜勤業務を実践できる			1. チームの一員としてのメンバーシップを理解し行動できる 2. 受け持ち患者のケーススタディをまとめ自己の看護を振り返ることができる 3. 重症患者についてアセスメントでき、看護実践ができる 4. 中心静脈の挿入・管理、高流量酸素療法の学習ができ			1. チームの一員としてのメンバーシップを発揮できる 2. 受け持ち看護師としての看護展開を理解できる 3. 指導のもと、重症患者の看護を実践できる 4. 胸腔穿刺の学習ができる 4. 自己の成長を振り返り、看護観をまとめ次年度への課題を明確にできる		
新人集合研修			全体オリエンテーション ★新採用研修★ ①組織人としての心構え ②勤務時間管理 ③ビジネスマナー ③コミュニケーション ④医療安全 5なりたい看護師像 ★新採用研修★ ①看護記録 ②感染対策 ③電子カルテ ④医療安全 ★集合研修★ ①採血・血管確保 ②移乗・移送 ★済生塾★	★集合研修★ ①経管栄養 ②吸引 ★済生塾★	★集合研修★ ①導尿・膀胱カテーテル留置 ②褥瘡予防 メンタルヘルス	★集合研修★ ①ポジショニング ②輸液ポンプ・シリンジポンプ	★集合研修★ ①BLS ②心電図		メンタルヘルス				★集合研修★ ①ケーススタディ メンタルヘルス	
病棟OJT内容	基本的姿勢と態度		1. 報告の仕方(Dr.やリーダー看護師・師長・同僚に対して) 2. 電話対応の方法 3. NSコールの対応方法 4. 患者や家族に対しての接遇(特に言葉使い) 5. 守秘義務とプライバシーへの配慮 6. 病棟目標の理解と役割遂行		1. 医療現場における、患者や家族に対しての接遇 (倫理面、言葉使い、多職種との連携方法)	1.自己学習への意識付け			1. メンバーシップについて					
	技術的側面		1. 基礎看護技術 2. 電カル操作1. VS測定とフィジカルアセスメント 3. 日常生活援助 (ボディシューニング・シーツ交換・オムツ交換・環境整備・口腔ケア) 4. 記録の方法 5. スタンダードプリコーション、面会方法について 6. 与薬について 7. 排便コントロール(流臓、摘便、座薬) 【病棟技術演習】 ☆採血 ☆静脈確保 ☆ミキシング	1. 心電図モニター、12誘導心電図について 2. 麻痺・拘縮のある患者を想定した移乗、寝衣服交換について 3. 嚥下障害のある患者への食事介助について 4. 胃管管理・経管栄養投与方法について 5. 血糖測定、インスリン投与について 【病棟技術演習】 ☆輸液ポンプ ☆シリンジポンプ	1. 救急カートについて 2. 酸素療法について 3. 吸引の方法について 4. 褥瘡について **看護必要度の入力は可能であるが、最終確認は先輩看護師が行い確定する。**	1. 入院の取り扱い、オリエンテーション方法について 2. 導尿、膀胱留置カテーテル挿入について 3. 急変時の対応について 4. 吸入について	1. フィジカルアセスメントについて 2. 血液培養について	1. 死後のケア(処置方法・家族対応・処置・手続き) 2. ストーマ交換	1. 輸血の取り扱い 2. 動脈採血	1. 酸素投与の違い(インスピロン・NHF・NPPV・人工呼吸器)	1. 未収得項目の達成に向けて個別で技術強化	1. 未収得項目の達成に向けて個別で技術強化	1. 未収得項目の達成に向けて個別で技術強化	1. 未収得項目の達成に向けて個別で技術強化
	管理的側面		1. 患者誤認、針刺し防止と対応 2. 医療廃棄の取り扱い	1. 避難経路、防災対策 2. SPD管理について	1. インシデント・アクシデント時の対応 2. 麻薬・向精神病薬の取り扱い	1. 災害訓練への参加		1. 受け持ち看護師の役割について	1. 看護過程の展開や看護サマリーの書き方について					1. 看護観のまとめ
指導・支援体制	(患者受け持ち)など指導担当	病棟スタッフへ教育計画、体制について説明												
評価			1. 教育担当者で2週間毎に話し合い(13:30～) 2. 技術チェックリストで経験項目の確認 3. 計画の評価、修正	1. 2週間毎に話し合い(13:30～) 2. 技術チェックリストで経験項目の確認 3. 計画の評価、修正	1. 2週間毎に話し合い(13:30～) 2. 3ヶ月評価の実施(技術チェックリスト・ナーシングスキル)で経験項目の確認 3. 計画の評価、修正	1. 1ヶ月毎に話し合い、計画評価、修正 2. 技術チェックリストで経験項目の確認 3. 9月:6ヶ月評価の実施(技術チェックリスト・ナーシングスキル)			1. 1ヶ月毎に話し合い、計画評価、修正 2. 技術チェックリストで経験項目の確認 3. ケーススタディで看護の振り返りの実施			1. 1ヶ月毎に話し合い、計画評価、修正 2. 技術チェックリストで経験項目の確認 3. 看護観のまとめ・ナーシングスキルで年間評価 4. 3月:12ヶ月評価の実施		
勉強会・面談			1. ナーシングスキルの活用(与薬、静脈内注射について) 2. なりたい看護師像を記載する 3. プリセプターや教育担当者と振り返り	1. ナーシングスキルの活用(嚥下障害のアセスメント、行動制限、転倒転落予防) 2. プリセプターや教育担当者と振り返り	1. ナーシングスキルの活用(褥瘡、せん妄に対する看護) 2. プリセプターと技術チェック・ナーシングスキルで評価 3. プリセプターと教育担当者・主任、副主任と振り返り	1. ナーシングスキルの活用(急変時、フィジカルアセスメン) 2. プリセプターと技術チェック・ナーシングスキルで評価 3. プリセプターと教育担当者と振り返り(9月は主任、副主任交えて)			1. ナーシングスキルの活用(中心静脈の挿入・管理、高流量酸素療法) 2. プリセプターと技術チェック・ナーシングスキルで評価 3. プリセプターと教育担当者と振り返り			1. ナーシングスキルの活用(胸腔穿刺) 2. プリセプターと技術チェック・ナーシングスキルで評価 3. プリセプターと教育担当者と振り返り		プリセプターと教育担当者・主任、副主任と年間振り返り
●教育委員	目標・計画													
●教育担当者	目標・計画													